

インフォシス、2030 年に向けた ESG ビジョンを刷新： 気候変動対策と人材育成への取り組みをさらに強化

～2030 年までにカーボンニュートラルを実現、世界規模でのスキル向上と生計支援を拡充～

インド・バンガロール – 2025 年 6 月 4 日

[Infosys](#)（NSE、BSE、NYSE：INFY）は、次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーとして、本日、2030 年までの[環境、社会、ガバナンス（ESG）ビジョン](#)の刷新を発表しました。この刷新は、2020 年に初めて表明され、今回より大胆な目標を掲げて再表明されたインフォシスの継続的な ESG コミットメントの一環です。ESG ビジョン 2030 では、気候変動への対応、水資源と廃棄物の持続可能な管理、デジタルスキルの育成と雇用機会の拡充、多様性とインクルージョンの推進、地域社会への貢献強化、従業員のウェルビーイングと働きがいのある職場づくり、そしてコーポレートガバナンス、データプライバシー、情報管理の高度化といった分野を重点領域として掲げています。

インフォシス最高経営責任者（CEO）であるサリル・パレクは次のように述べています。「インフォシスにおいて、ESG 2030 ロードマップは単なるコミットメントではありません。急速に変化する世界において、持続可能性、社会的責任、模範的なガバナンスを通じて、責任あるビジネスリーダーシップを先導するための青写真です。ESG 目標の進展に伴い、私たちの未来ビジョンもより大胆なものへと進化しています。これは、インフォシス ESG ビジョン 2030 の更新内容にも反映されています。変わらないのは、人間の可能性を拡大し、人々、企業、コミュニティのための次の機会を創造するという目的を実践する、よく統治された組織としての継続的なコミットメントです。」

インフォシスの ESG 成果のハイライト：

- 2025 年度（FY25）で 6 年連続のカーボンニュートラルを達成
- FY24 と FY25 の間にインド全土で 11 の湖の再生プロジェクトを実施し、水貯留容量を 43 億リットル増加
- TechForGood プログラムを通じて、e ガバナンス、医療、教育分野で 1 億 2,500 万人以上の生活を支援
- デジタルスキル向上イニシアチブを通じて 1,330 万人に到達
- Infosys は、Ethisphere により「世界で最も倫理的な企業」に 5 年連続で選出

- EU のデータ保護当局から Binding Corporate Rules (BCR) の承認を受けた最初のインド本社企業

更新された ESG 目標のハイライト：

- 2030 年までにスコープ 1、2、3 の温室効果ガス (GHG) 排出量削減を通じ、気候ポジティブを達成。大気中から排出量を超える二酸化炭素を吸収し、ネットゼロを超えた目標を目指す。2029 年までカーボンニュートラルを維持。
- デジタルスキルを 1800 万人以上の人々（従業員、顧客の従業員、学生、教師、地域社会など）に拡大し、50 万人以上の雇用機会を創出します。
- コミュニティの強化 - テクノロジーを活用した社会貢献（Tech for Good）イニシアチブ、雇用創出、CSR 活動（従業員のボランティア活動、医療支援、女性のエンパワメントなど）を通じて、持続可能なコミュニティの変革と創造を推進します。
- 多様な背景を持つ従業員で構成される権限委譲された取締役会を通じて、すべてのステークホルダーの利益を最優先にします。
- 事業展開する地域においてデータプライバシーの基準を確立し、情報セキュリティ実践の業界リーダーとして位置付けます。

Infosys のグローバルな ESG 取り組みと ESG 関連目標の詳細については、最新の [Infosys ESG Report 2024-25](#) をご覧ください。

Infosys について

インフォシスは、次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーです。30 万人を超える従業員が、人、企業、コミュニティの潜在能力を最大限に引き出し、次なる機会を創造するために取り組んでいます。56 カ国以上のクライアントがデジタル変革を推進する中で、私たちは支援しています。40 年以上のグローバル企業システムの管理経験に基づき、クラウドと AI を活用したデジタル変革を導く専門知識を提供しています。私たちは、AI を中核とした基盤を提供し、アジャイルなデジタル変革を大規模に展開することでビジネスを強化し、イノベーションエコシステムからデジタルスキル、専門知識、アイデアを共有することで、継続的な改善を推進します。私たちは、多様な人材が活躍できる包摂的な職場環境において、適切に統治され、環境持続可能な組織として、深くコミットしています。

詳細については、www.infosys.com をご覧ください。Infosys (NSE、BSE、NYSE：INFY) が、貴社の次なるステップを支援する方法をご確認ください。

セーフハーバー

本リリースに含まれる当社の将来の成長見通し、または将来の財務または営業成績に関する一部の記述は、1995 年民間証券訴訟改革法に基づく「セーフハーバー」条項に該当する将来予測に関する記述であり、実際の結果または成果がこれらの将来予測と著しく異なる可能性のあるリスクおよび不確実性を伴います。これらの声明に関連するリスクと不確実性には、以下のものが含まれますが、これらに限定されません：当社の事業戦略の執行に関するリスク、人材獲得競争の激化、人材の採用・定着能力、賃金上昇、従業員の再スキル化のための投資、ハイブリッド型勤務モデルの有効な実施能力、経済的不確実性および地政学的状況、ジェネレーティブ AI を含む技術的混乱と革新、複雑かつ変化する規制環境（移民規制の変更を含む）、当社の ESG ビジョン、当社の資本配分方針、市場ポジション、今後の事業運営、利益率、収益性、流動性、資本資源、当社の企業行動（買収を含む）およびサイバーセキュリティに関する事項が含まれます。将来の見通しに関する記述と実際の結果または成果が異なる要因については、2024 年 3 月 31 日終了の事業年度に関する当社の米国証券取引委員会（SEC）提出書類（Form 20-F 年次報告書を含む）において詳細に説明されています。これらの提出書類は、www.sec.gov で閲覧可能です。インフォシス（Infosys）は、適宜、追加の書面または口頭による将来見通しに関する表明を行う場合があります。これには、当社が証券取引委員会に提出した書類および株主への報告書に含まれる表明も含まれます。当社は、法律で義務付けられる場合を除き、当社または当社の代理人によって適宜行われる将来見通しに関する表明を更新する義務を負いません。

お問い合わせ先

インフォシスリミテッド 東京オフィス

担当 安藤 jo_ando@infosys.com